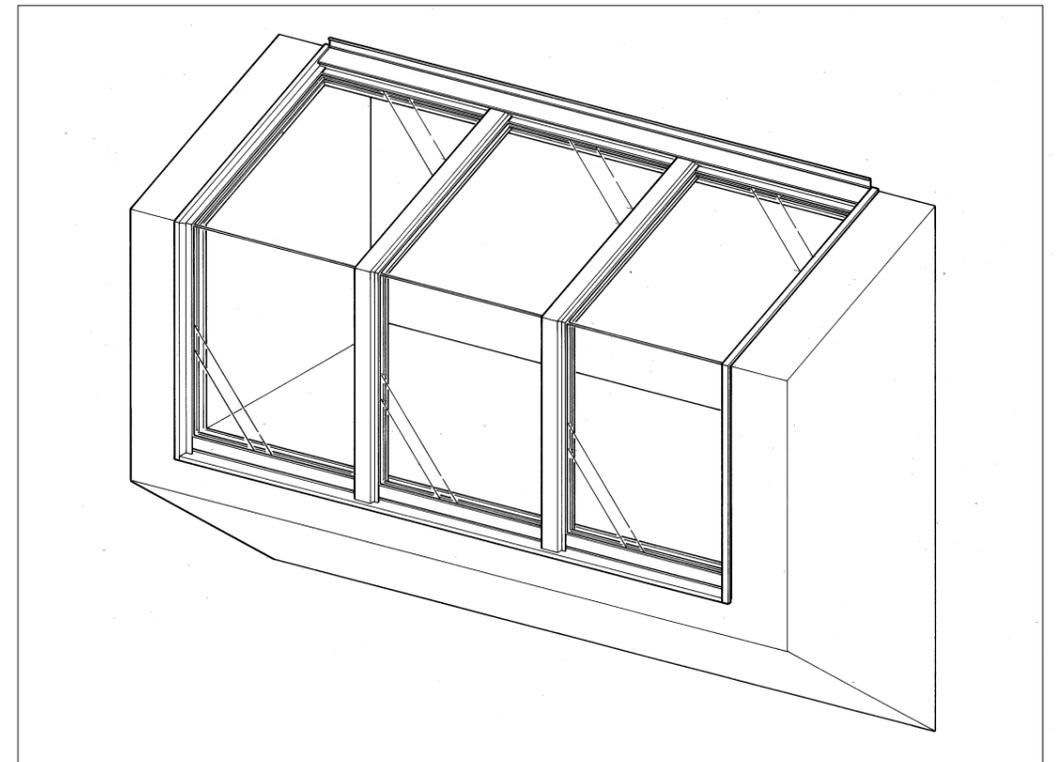


MAH-652A  
4類  
2003年10月1日発行



NCVオペラ

# スカイサイド窓 取付け説明書



■目次	
■施工される方へのお願い	1
■取付け完成図と取付け概略	2
■取付け順序	3~8
1.開口部の作り方	3
2.枠の取付け	4
3.ガラスの入れ方	4~6
4.雨仕舞い処理	7
5.ガラス部のシーリング処理	8
■基本図納まり図	9・10

# 施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。  
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

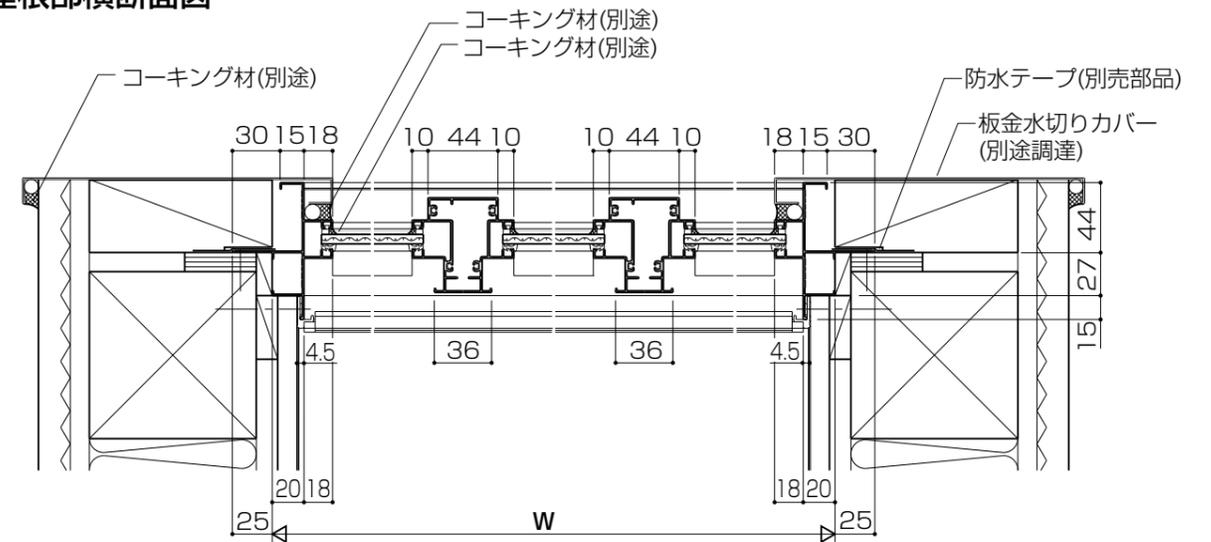
- ガラス破損や、接触時のケガの恐れがあるので、ガラスは必ずワイヤー入り6.8mmを使用し、突合わせ部は必ず両面取りをしてください。
- 漏水の原因となりますのでシーリングの指定個所は必ずコーキング材を充てんしてください。

- この説明書は施工される方にお渡しください。
- 本製品の施工は雨仕舞いがポイントになります。
- 雨仕舞をより確実にするために、サッシ枠を躯体の取合わせ部に防水テープ（有償）を張ってください。
- 開口部の水平・垂直及び角度は、製品を正しく取り付ける上で非常に大切ですから、正確に出してください。
- 板金個所は、別途でご用意します。
- 後付けビード（6.8mm）は別売りになりますので、下記のコード番号でご注文ください。

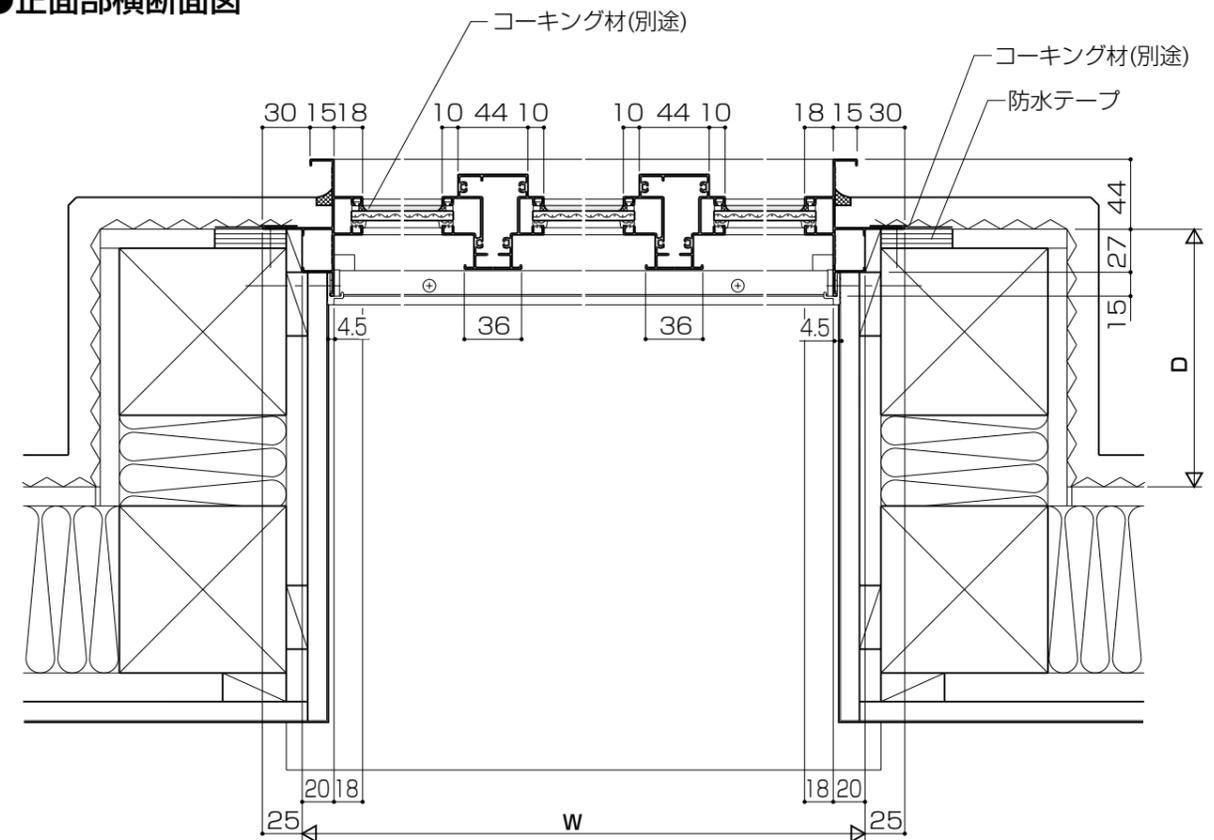
■後付けビードコード表

色	コード番号	
シャイングレー	A1F07	A1F17
ブロンズ	A3F07	A3F17
ブラック		
オータムブラウン	A8F07	A8F17
ホワイト		
	20m巻	100m巻

●屋根部横断面図



●正面部横断面図

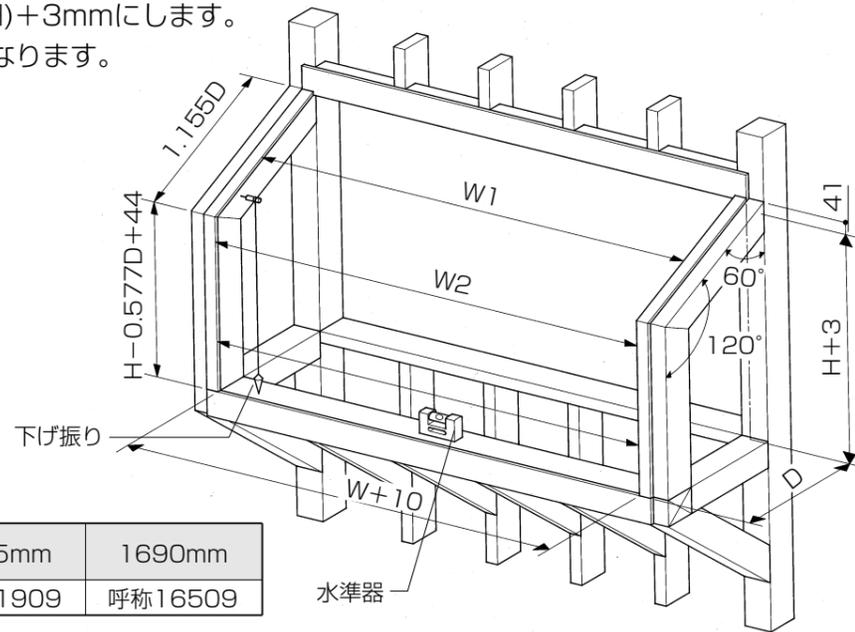


# 取付け順序

## 1. 開口部の作り方

### ■開口寸法の決め方

- 開口幅は、サッシ基本寸法(W)+10mmにします。
- 開口高さは、サッシ基本寸法(H)+3mmにします。
- 出幅は、サッシ基本寸法(D)になります。

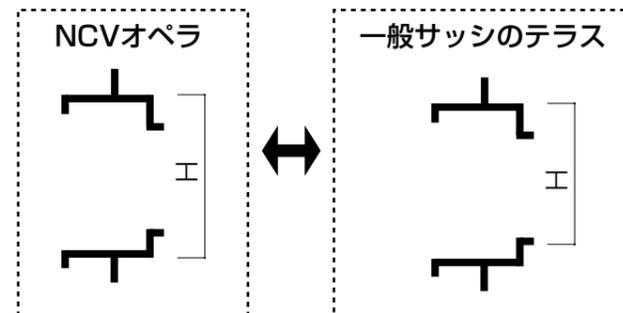


〈サッシ基本寸法表〉

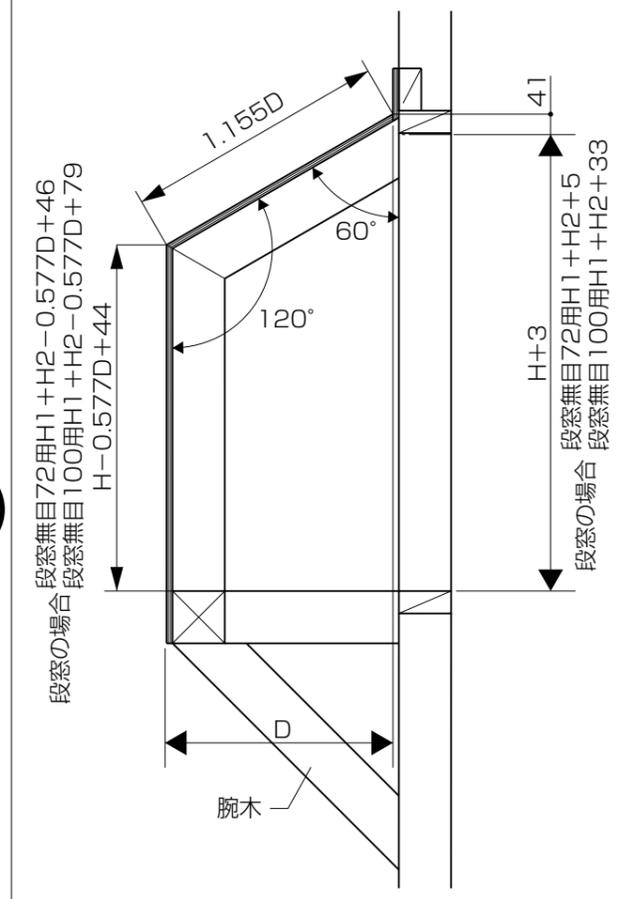
H	W	780mm	1235mm	1690mm
970mm		呼称07409	呼称11909	呼称16509

### ■留意事項

- 開口幅W1、W2、W3に差があると、ガラスが入られなくなりますので念入りに調整してください。
- 開口部の水平・垂直及び角度60°、120°の調整を十分に行ってください。  
※角度が正しく出ていないと製品の納まりが悪く雨漏れの原因になります。
- 製品重量がかなりありますので（16509ガラス入りで約40kg）開口部を十分に補強してください。  
段窓時の下段にテラスタイプを取り付ける時は、縦方向の算出式プラス40mmとなります。  
（テラスタイプと窓タイプでは、同じ品種でも高さ方向の基本寸法押さえ位置が異なる為（下図参照））



### ●木枠寸法(窓タイプ)

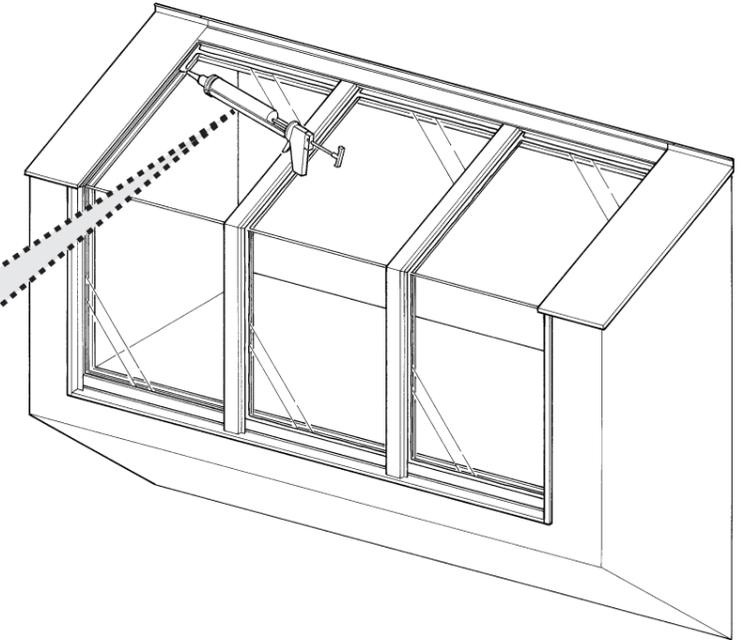


## 5. ガラス部のシーリング処理

- ガラス突き合わせ部は油や水滴、ゴミ等が付いているとシーリングの際に剥離の原因となりますので、処理面の汚れをきれいにふき取ってください。
- シーリング個所周辺をテープでマスキングし、シリコンシーラント（透明）で処理します。終了後テープをはがし、そのまま一昼夜養生します。

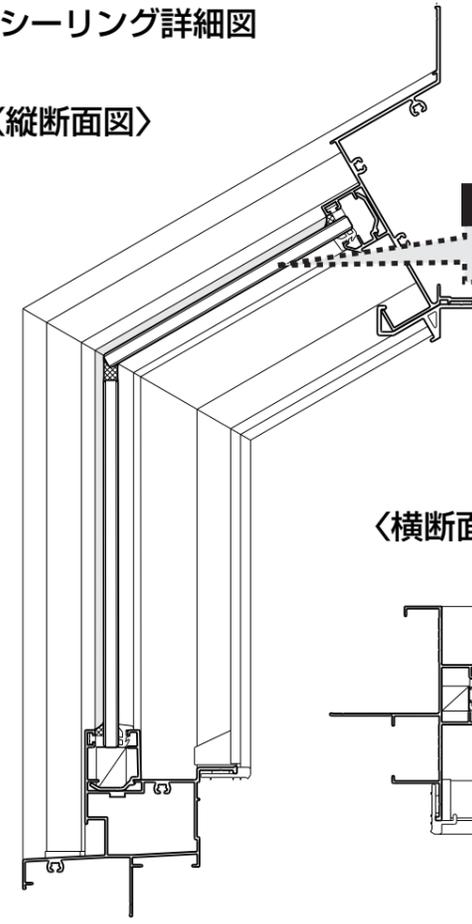
### ▲ 注意

- 雨漏れや網入りガラスの腐食を防止するためにシーリング処理を施してください。

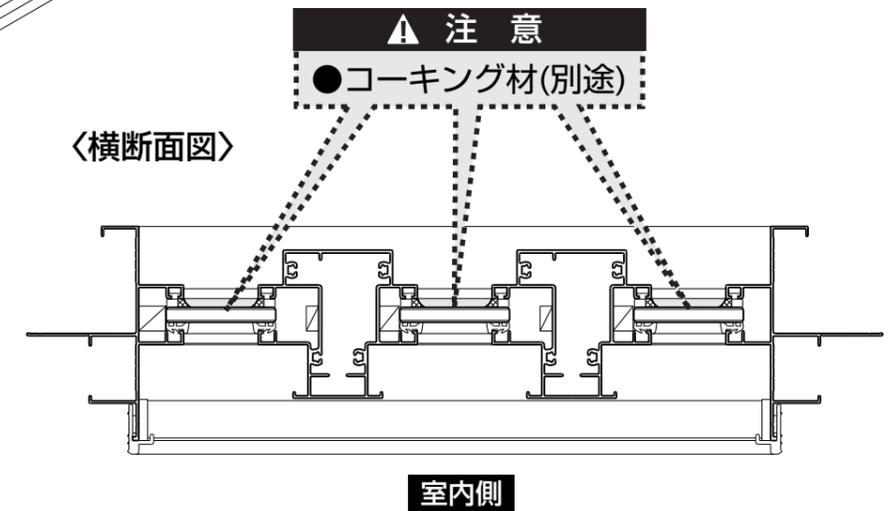


### ■シーリング詳細図

〈縦断面図〉

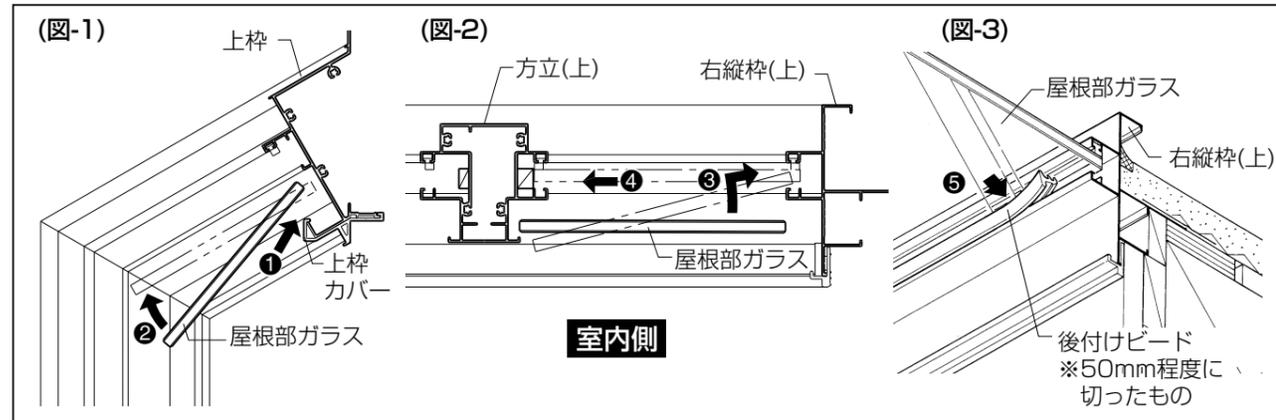
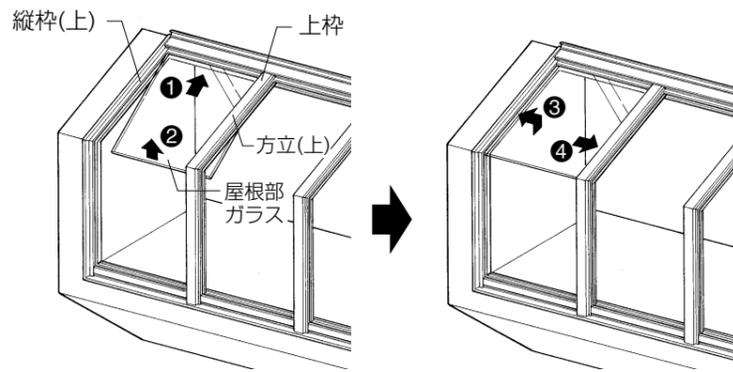


〈横断面図〉



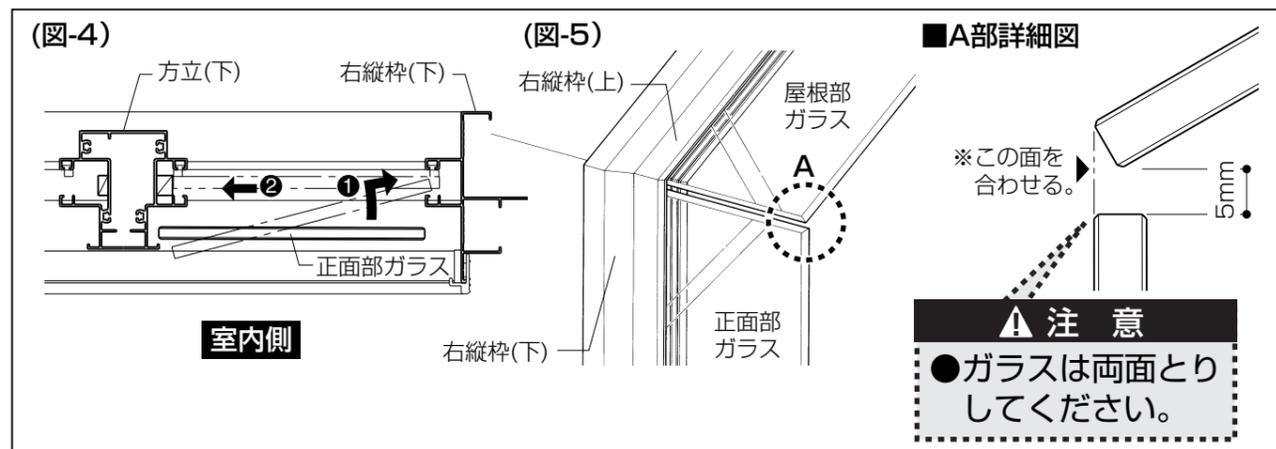
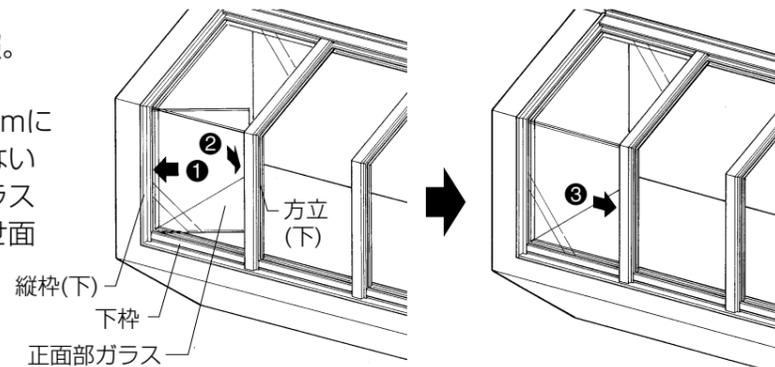
### 1 屋根部のガラスの入れ方

- ガラスを右図の順序ではめ込みます。
- ①ガラスを上枠カバー(樹脂製)と、ガラス溝下部の間に差し込みます。(図-1)
- ②屋根部と平行にガラスを持ち上げます。(図-1)
- ③P.4「ガラス入れのポイント」を参照。(図-2)③-④
- ④後付けビードをガラスと型材の間に固定します。(図-3)⑤



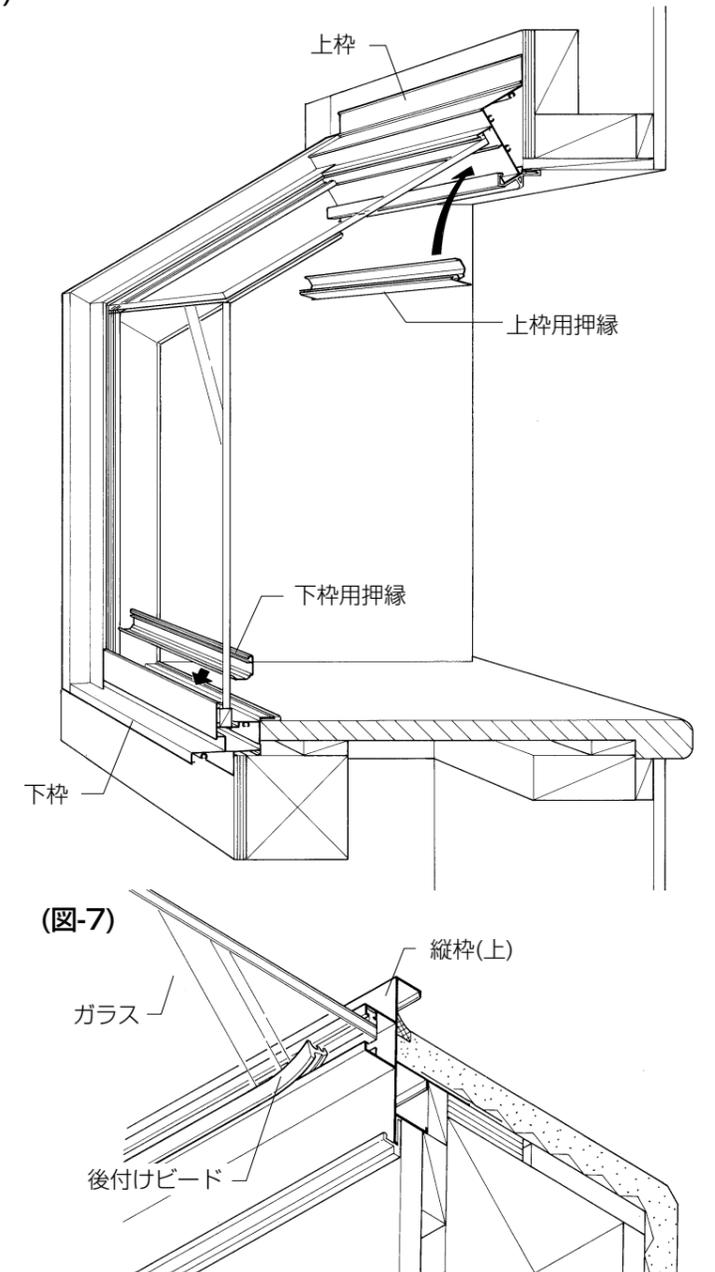
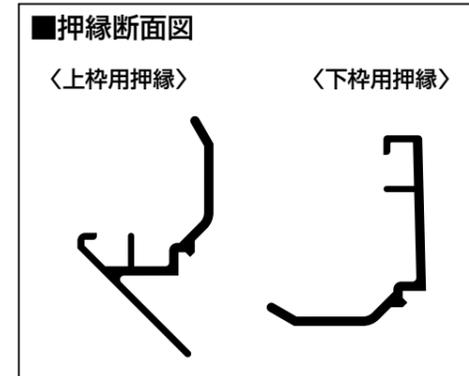
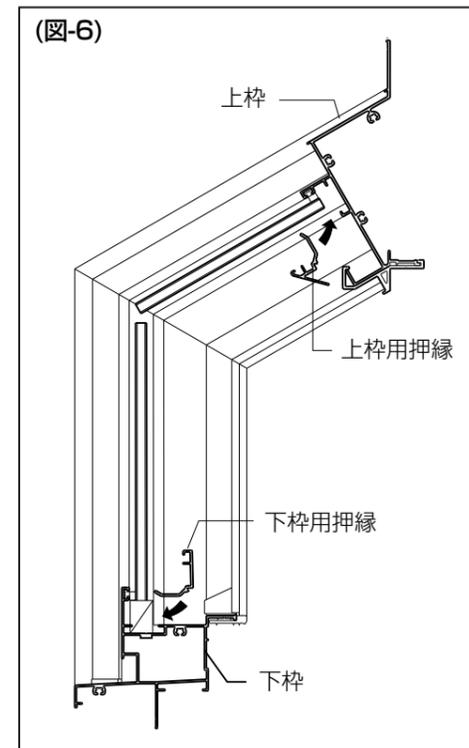
### 2 正面部のガラスの入れ方、ガラス突き合わせ部の調整

- ガラスを右図の順序ではめ込みます。
- P.4「ガラス入れのポイント」を参照。(図-4)①-②
- ガラス突き合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、ころびのある場合は下枠ガラスライナーにカイ物を入れ、突き合わせ面を平らにします。(図-5)



### 3 押縁の取付け

- 上枠及び下枠に押縁を入れます。(図-6)



### 4 後付けビードの取付け

- 室内側から後付けビードでガラスを固定します。(図-7)

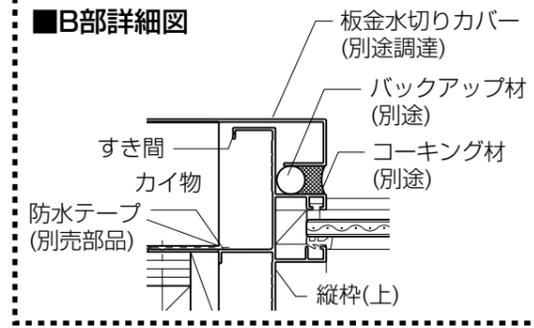
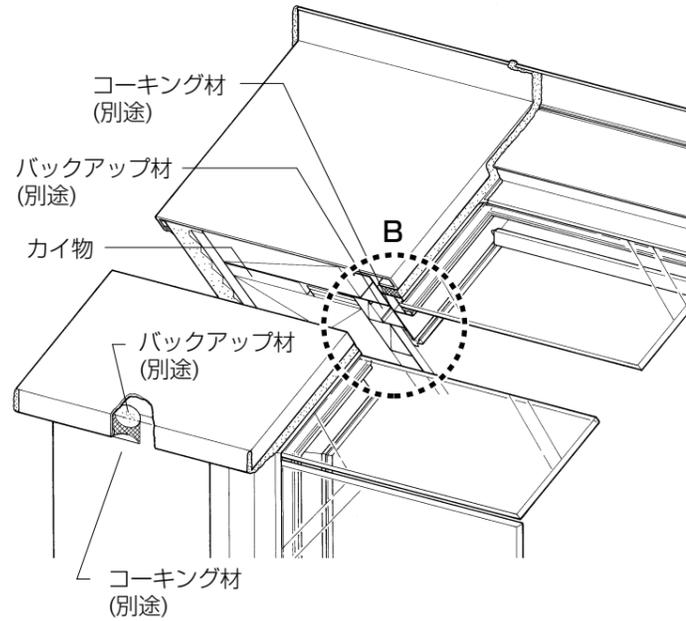
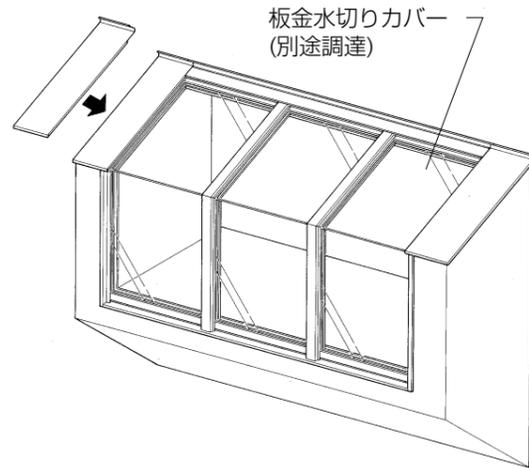
#### 4.雨仕舞い処理

●屋根部の縦枠には、板金水切りカバーが必要です。取り付けないと、サッシ連結部より漏水のおそれがあります。

①板金水切りカバー(カラー鋼板………別途調達)で縦枠の屋根部を覆います。

※板金水切りカバーとアルミ型材が接触しない様に、右図のカイ物を入れてください。接触すると腐食の原因になります。(B部詳細図)

②板金水切りカバーと枠、及び躯体の取り合わせ部をシーリングします。



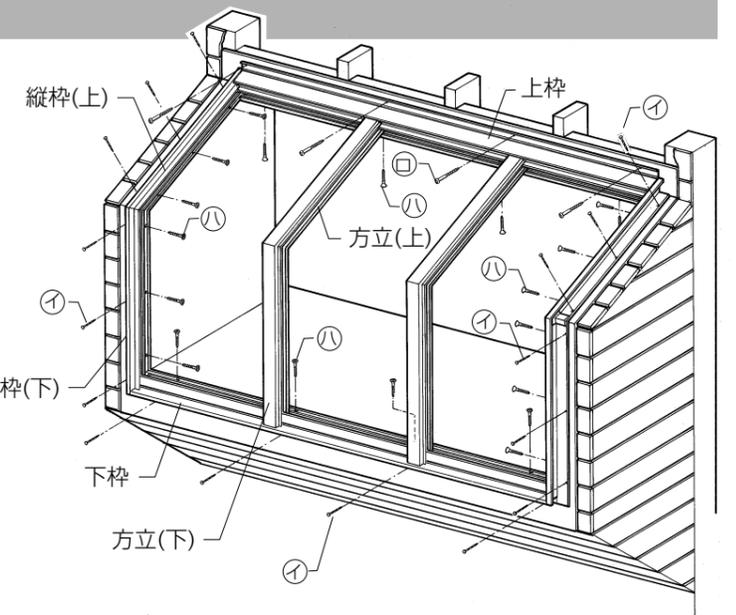
#### 2.枠の取付け

①組み立てた枠を窓台にのせ、仮止めします。(①スクリーネジ)

②枠の水平・垂直出しをします。ガラスの突き合わせ部のサッシ開口幅と上・下枠部の開口を同じにした後、枠全体を本固定します。(□丸木ねじ・⊖皿木ねじ)

※サッシ開口幅が正しく調整されていないとガラス入れが出来なくなりますからご注意ください。

※図中①～⑧のねじの種類はP.2「取付けねじ一覧表」参照



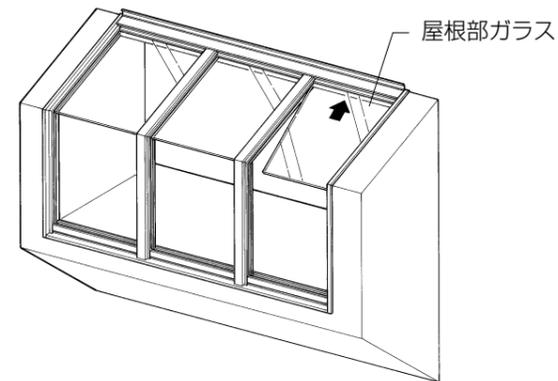
#### 3.ガラスの入れ方

##### ▲ 注意

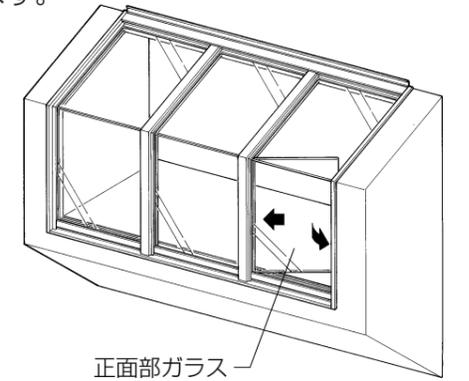
●ガラスは、安全のため必ずワイヤー入り6.8mmをご使用ください。

##### 〈ガラスの入れ方手順〉

①屋根部のガラスを入れます。

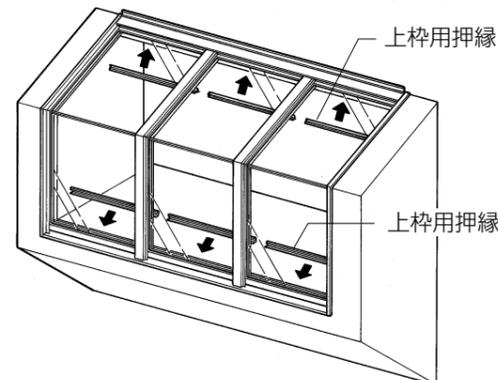


②正面部のガラスを入れ、ガラス突き合わせ部を調整します。



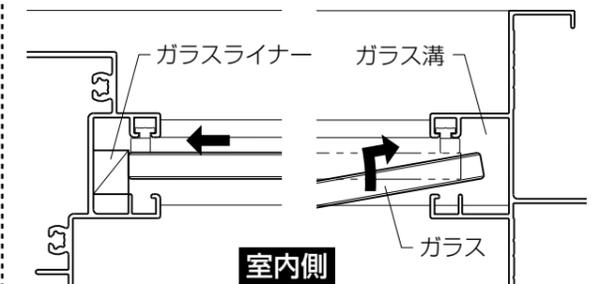
③押縁を上・下枠に取り付けます。

④後付けビードでガラスを固定します。



##### ■ガラス入れのポイント

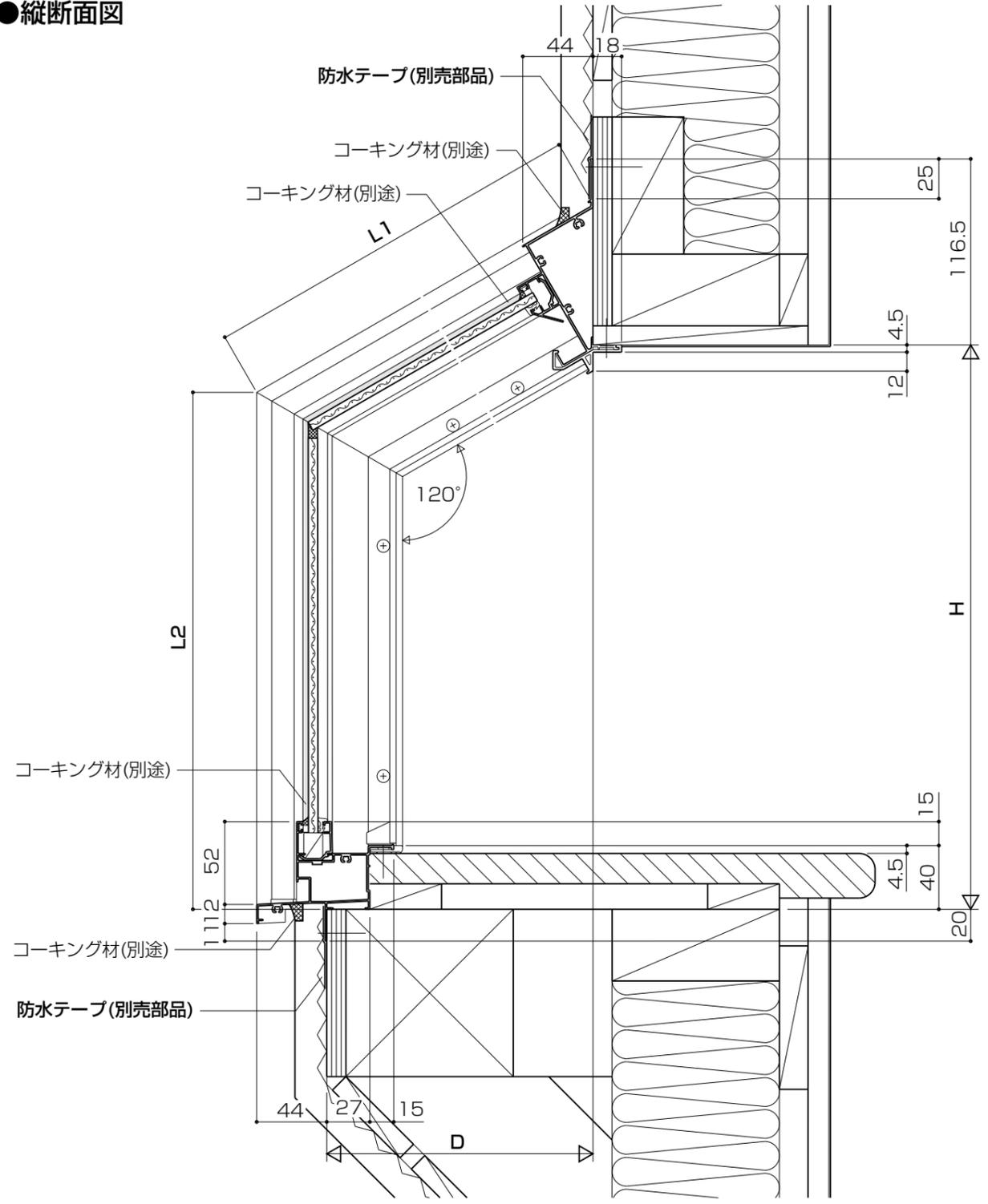
ガラスは、室内側から見て右側のガラス溝に差し込み、次に左側のガラス溝のガラスライナーに突き当たるまで、はめ込みます。



# 取付け完成図と取付け概略

## 基本納まり図

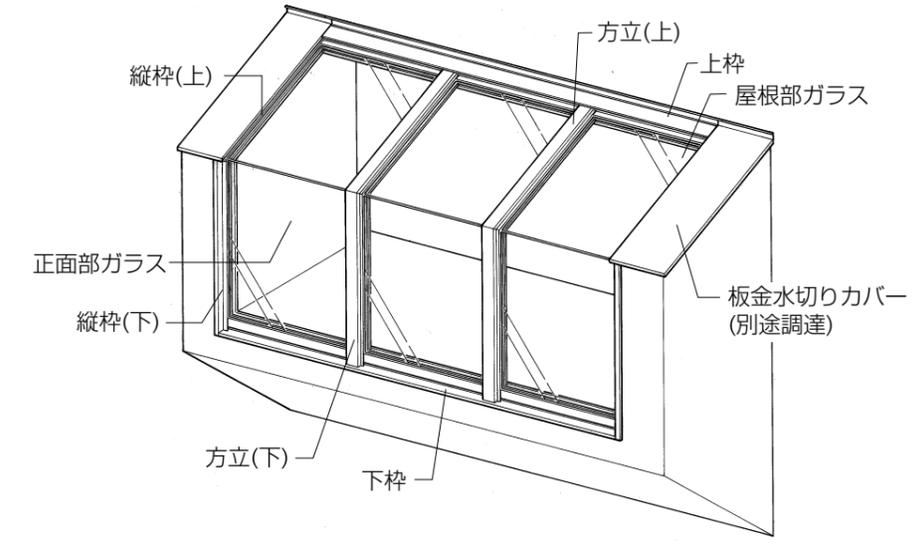
### ●縦断面図



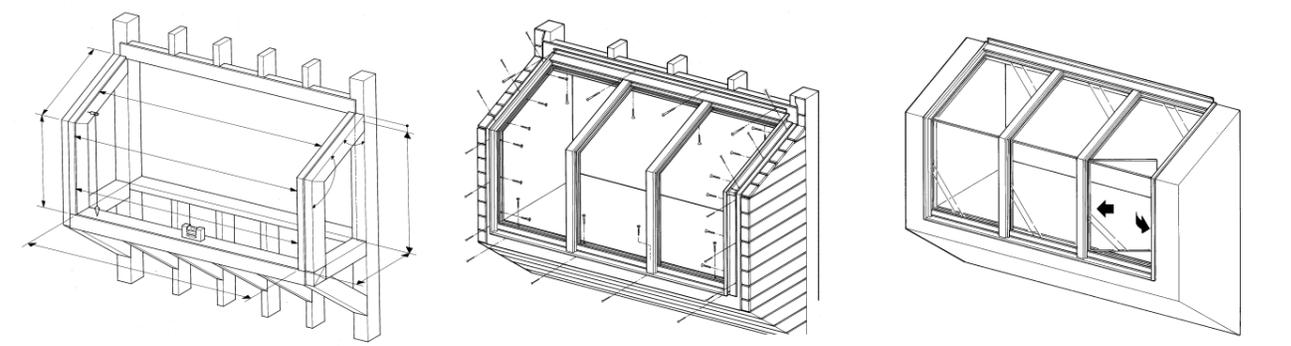
## 取付けねじ一覧表

①	②	③
スクルー釘 φ2.1×25	丸木ねじ φ3.5×32	皿木ねじ φ3.5×20

※本説明書中の①～③はねじの種類を表します。



- 1. 開口部を作る。
- 2. スカイサイド窓を取り付ける。
- 3. ガラスを入れる。



- 押縁を入れる。
- 4. 雨仕舞いの処理をする。
- 5. シーリング処理をする。

